

A12

8/5/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R) File 351:Derwent WPI
(c) 2002 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011181215 **Image available**
WPI Acc No: 1997-159140/ 199715
XRPX Acc No: N97-131381

Lock case for life belt in construction site - has insert base, fixed to body guide and radial base to lock hole, when fixed base is inserted into case body

Patent Assignee: FURUTA M (FURU-I)
Number of Countries: 001 Number of Patents: 001
Patent Family:
Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Week
JP 9028440 A 19970204 JP 95209896 A 19950714 199715 B

Priority Applications (No Type Date): JP 95209896 A 19950714

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes
JP 9028440 A 3 A45C-013/00

Abstract (Basic): JP 9028440 A

The lock case has a case body (1) and a fixed brush (2). The case body has a belt hole, a lock hole an in sorting part and a body guide. The lower part of the case body has an assisting spring.

The fixed base has an insert base, a fixation base guide and a lock radial base. When the fixed base is inserted into the case body, the insert gas fixed into body guide and lock radial base locks into lock hole. The locking is then assisted by lock spring.

ADVANTAGE - Improves safety of worker working at heights.

Dwg.1/3

Title Terms: LOCK; CASE; LIFE; BELT; CONSTRUCTION; SITE; INSERT; BASE; FIX; BODY; GUIDE; RADIAL; BASE; LOCK; HOLE; FIX; BASE; INSERT; CASE; BODY

Derwent Class: P24

International Patent Class (Main): A45C-013/00

File Segment: EngPI

8/5/2 (Item 1 from file: 347)
DIALOG(R) File 347:JAPIO
(c) 2002 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05413640 **Image available**
LOCK CASE

PUB. NO.: 09-028440 [JP 9028440 A]
PUBLISHED: February 04, 1997 (19970204)
INVENTOR(s): FURUTA MASARU
APPLICANT(s): FURUTA MASARU [000000] (An Individual), JP (Japan)
APPL. NO.: 07-209896 [JP 95209896]
FILED: July 14, 1995 (19950714)
INTL CLASS: [6] A45C-013/00
JAPIO CLASS: 31.2 (PACKAGING -- Containers)

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the falling or loss of a convex during operations or during movement by fixing a case body to a safety belt or a belt, inserting a fixed base part on the side of the convex to the insertion part of a main body case and fixing it by a lock part present on both sides of a case.

SOLUTION: This lock case is fixed by passing the belt to the belt loop 1a of the case main body 1 for preventing the falling of the convex used in a construction site or the like. The fixed base part 2a of the convex is inserted to the case 1c, the fixed base part 2c is hooked to the lock hole 1b of the case and a lock function is operated. Also, it is stably fixed by

BEST AVAILABLE COPY

the function of a case guide and a fixed base part guide 2b. By the function of an auxiliary spring 1e, detachment is smoothly performed.

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-28440

(43) 公開日 平成9年(1997)2月4日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 5 C 13/00

識別記号

庁内整理番号

F I

A 4 5 C 13/00

技術表示箇所

M

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-209896

(22) 出願日 平成7年(1995)7月14日

(71) 出願人 594078537

古田 勝

名古屋市名東区山の手2-104 宝マンシ
ョン山の手608号

(72) 発明者 古田 勝

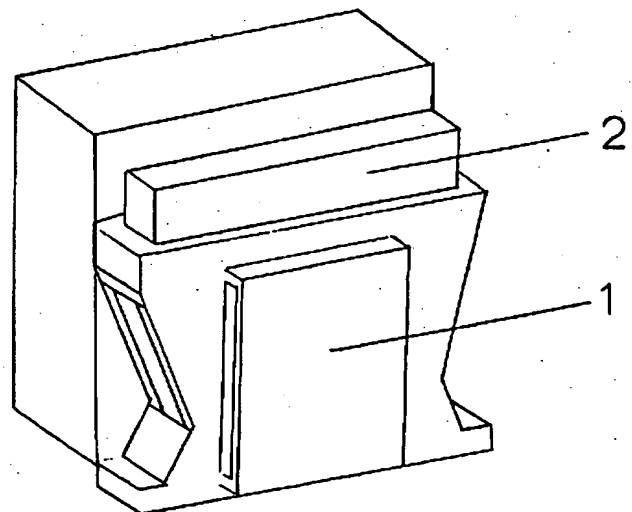
愛知県名古屋市名東区山の手2-104宝マ
ンション山の手608号

(54) 【発明の名称】 ロックケース

(57) 【要約】

【目的】 製造業又、工事現場などで、使用されているプラスチック製のコンベックスを高所作業時又は、移動時に落とす事を防止するコンベックス一体型の基部と、ベルトに固定して瞬時に取り外しができるベルト用ケースを提供する事。

【構成】 ベルトに通し固定したケース本体に、一体成型されたコンベックス側のインサート基部を、ベルトに固定したケースに差し込んで両サイドにあるロック部分で固定する。また、ケースの下部には補助スプリングが有り、この作用で取り外しがスムーズになる。以上の部材から構成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 製造業又、工事現場等で使用する。コンベックスにあらかじめ一体成型された固定基部と、固定基部のインサート部のガイドと、固定基部のロック基部と、ケース本体の両サイドにあるロック穴と、ケース本体を安全ベルト等に固定する固定基部と、ケース本体のインサート基部と、ケース本体のインサート基部のガイド基部と、ケース本体の下部の補助スプリング基部と、から構成されていることを特徴とするロックケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】【産業上の利用分野】工事現場での高所作業時又は、移動時に誤ってコンベックスを落とす事を防止する。又、コンベックスの紛失を防止する。全産業一般生活においてもベルトに固定して瞬時に取り外しができる、ベルト固定用ロックケースに関する。

【0002】【従来の技術】従来のコンベックスでは、収納ケースが無く作業時又は、移動時に誤ってコンベックスを落下させてしまう落下事故が起きてしまう。これは、高所作業最大の問題点であった。

【0003】【発明が解決しようとする課題】したがって、各建設会社では作業員の管理にたよるしかなく、落下事故がなかなか減少しない理由でもあった。本発明は、工事関係者の強い要望にこたえるために発明されたのである。

【0004】【課題を解決するための手段】安全ベルト又は、ベルトにケース本体を固定して、コンベックス側の固定基部を本体ケースのインサート部に差し込んで、ケースの両サイドにあるロック部分で固定して、作業中又は、移動中にコンベックスの落下又は、紛失を防止するように発明されている。

【0005】【作用】安全ベルトまたは、ベルトにケース本体を固定してコンベックス側のインサート基部 2 をケースインサート部に差し込んでロックされる。この作用によって作業中又は、移動中にコンベックスの落下を防止し、問題を解決される事になる。

【0006】【実施例】本発明のロックケースの実施例

について図面に基づき説明する。図 1 は本発明の実施例のロックケースを表した斜視図である。本実施例のロックケースは、図 1 に示したように建設現場等で使用されているコンベックスの落下を防止するケース本体 1 の、ベルト通し 1 a にベルトを通して固定する。コンベックスの固定基部 2 a をケース 1 c に挿入させてケースのロック穴 1 b に固定基部の 2 c が引っかかりロック機能が作用する。また、ケースガイド 1 b と固定基部のガイド 2 b の作用によって安定固定される。1 e の補助スプリングの作用により取り外しがスムーズになる。

【0007】【発明の効果】以上、詳述したように本発明のロックケースは、建設現場等での着用している安全ベルト等の、ベルト部分にケース 1 を取付けて、コンベックスの落下事故又は、紛失を防止して高所作業での安全性を高める画期的な発明であり建設業界など各業界に与える恩恵は多大なものである。

【0008】

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明のロックケースの実施例の斜視図である。

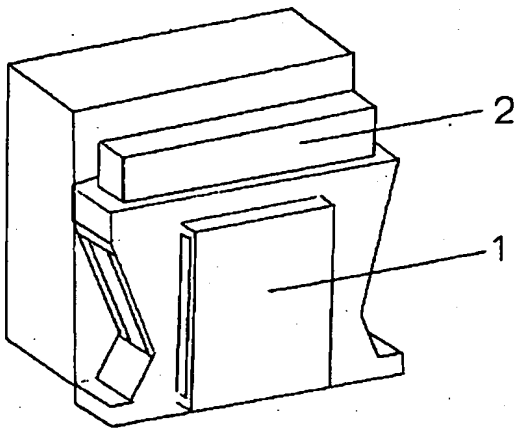
【図 2】本発明のロックケースの部分拡大詳細図である。

【図 3】本発明のロックケースの部分拡大詳細図である。

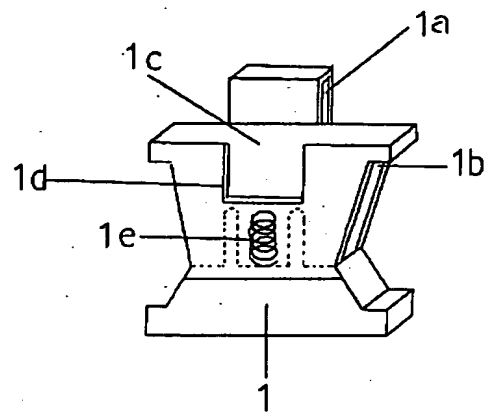
【符号の説明】

- | | |
|-----|---------|
| 1 | ケース本体 |
| 1 a | ベルト通し |
| 1 b | ロック穴 |
| 1 c | インサート部 |
| 1 d | 本体ガイド |
| 1 e | 補助スプリング |
| 2 | 固定基部 |
| 2 a | インサート基部 |
| 2 b | 固定基部ガイド |
| 2 c | ロック基基部 |

【図 1】



【図 2】



【図 3】

